

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
11時55分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	こども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00319	こども発達支援センター施設管理事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充							
予算事業	10455	01	03	02	10	02	01	01	施設管理事業（こども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美				担当者（内線）山田 速人（374-11）				
根拠法令等	こども発達支援センター処務規程								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	部名変更に伴う処務規定改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	地域支援センター・杉の子学園（平成19年度～）わかたけ園（平成28年度から合築）の建物、敷地及び設備		
目標	建物、敷地及び設備を適正に維持、管理します。		
結果	施設や設備に起因した事故や故障をなくし、来場者が安心、安全に利用できるようにします。		
事業概要	建物、敷地及び設備の維持・管理にかかる委託業務、修繕、電気・ガス・水道の管理等行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社エイビック
		委託先②	大阪ガス
		委託先③	双葉化学商会
		主な委託内容	電気設備管理、空調設備管理、警備等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	27,069	20,062	122,595	58,882	24,009
人件費職員数(人)	1.90	1.60	0.90	0.90	0.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	15,523	12,640	7,247	7,247	7,151
総事業費(A+B)	42,592	32,702	129,842	66,129	31,160
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	42,592	32,702	129,842	66,129	31,160
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	42,592	32,702	129,842	66,129	31,160
財源計(C+D)	42,592	32,702	129,842	66,129	31,160

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00319

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	親子教室・わかたけ園・杉の子学園の年間の開室件数	件	目標値	805.00	831.00	833.00
			実績値	805.00	831.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	親子教室・わかたけ園・杉の子学園の年間の開室予定件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	40.62	79.58	
			一般財源(千円)	40.62	79.58	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	親子教室・わかたけ園・杉の子学園の利用人数	人	目標値	237.00	248.00	260.00
			実績値	235.00	226.00	
			達成度(%)	99.20	91.10	
目標値の積算方法	親子教室・わかたけ園・杉の子学園の利用定員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	139.16	292.61	
			一般財源(千円)	139.16	292.61	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：事業費総額は増加していますが、旧わかたけ園の土地の除却処分のための一時的な増加が主な増加理由であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標及び成果指標の達成度を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	こども発達支援センター施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00319				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	78	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00319
-----	-------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の事業開始当初と比較しての事業費負担については、平成29年度に旧わかたけ園の土地の除却処分のための負担増があったため、一時的に評価を低く設定しています。

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性 こども発達支援センターは築11年が経過し、毎年修繕を要する場所が出てきているため、事業費の負担は増大しているが利用者の安全にかかわる場所から計画的に修繕を行っていく必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1 頁  
平成30年 6月11日  
11時56分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	こども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00320	児童発達支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充							
予算事業	10456	01	03	02	10	03	01	01	児童発達支援事業（こども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美			担当者（内線） 松本美也子・岡本民江（374-14）					
根拠法令等	児童福祉法・こども発達支援センター条例								
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	杉の子学園の定員増に伴う条例改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	杉の子学園：主に知的障がい、または精神に障がいのある就学前の児童（発達障がいを含む） わかたけ園：主に上肢、下肢、または体幹機能に障がいのある就学前の児童		
目標	個々の児童の発達課題に即した療育を行い、障がいのある就学前児童の生活向上を目指します。また、保護者の負担・不安軽減を支援します。		
結果	児童の発達が促進され、生活技術が向上します。また、保護者の負担・不安が軽減されます。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童福祉法に基づき、障がいのある就学前児童を対象に、個別支援計画を作成します。</li> <li>日常生活における基本的な動作やあそびの指導、自立に必要な知識や技術の向上、集団生活への適応のため、保育士・生活指導員・発達指導員・理学療法士・作業療法士言語聴覚士と連携し、療育を行います。</li> <li>保護者に対し、相談や学習会等を通じて子育て支援を行います。</li> <li>杉の子学園は単独通園による小集団で、生活やあそびを通して療育を行います。</li> <li>わかたけ園は親子通園による生活遊び・機能訓練を通して療育を行います。</li> </ul>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	115,070	110,451	113,162	100,293	115,492
人件費職員数(人)	35.90	34.70	39.80	39.80	37.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	293,303	274,130	320,470	320,470	300,321
総事業費(A+B)	408,373	384,581	433,632	420,763	415,813
特定財源(C)	9,995	169,537	9,299	7,223	9,195
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	9,995	169,537	9,299	7,223	9,195
市負担(D)	398,378	215,044	424,333	413,540	406,618
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	398,378	215,044	424,333	413,540	406,618
財源計(C+D)	408,373	384,581	433,632	420,763	415,813

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00320

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	杉の子学園園児数	人	目標値	60.00	70.00	70.00
			実績値	70.00	70.00	
			達成度(%)	116.70	100.00	
目標値の積算方法	定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,494.01	6,010.90	
			一般財源(千円)	3,072.06	5,907.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	わかたけ園園児数	人	目標値	40.00	40.00	40.00
			実績値	42.00	40.00	
			達成度(%)	105.00	100.00	
目標値の積算方法	定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,156.69	10,519.08	
			一般財源(千円)	5,120.10	10,338.50	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 児童にとって必要な療育ができました。 保護者の相談等の支援を行いました。	達成状況 児童の発達の伸びが見られました。 保護者への支援ができました。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は一部削減を検討する余地がある(理由:臨時雇用員の雇用形態の一部見直しを検討中のため)。一方、療育環境の多様化に伴い、通園形態や療育内容の見直しを検討する必要があり、増額となる可能性がある。</p> <p>【指数数値の評価】 指数数値の推移を踏まえると事業成果は妥当である。今後、事業成果の目標を達成するためには、療育環境の整備に向けたさらなる事業の見直しが必要と考える。</p> <p>【今後の方向性】 人件費を一部見直すことで事業費の削減は可能だが、事業形態を見直すことによる拡充が必要である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	児童発達支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00320				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00320
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 障がいのある就学前児童に対し児童発達支援管理責任者を置き、個別支援計画に基づき多職種でのチームアプローチにより児童の発達を促進しているが、障がいの多様化と医療的ケア児が増加していることから、診療機能の充実と職員にはより高い専門性が求められている。</p> <p>(5)持続可能性 事業費は増加傾向にあるが、療育環境の変化に伴い多様な療育形態が求められており、検討を要する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
11時57分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00321	児童福祉サービス給付事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充							
予算事業	10460	01	03	02	10	04	01	01	児童福祉サービス給付事業（子ども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美				担当者（内線）景山 昭宏（374-11）				
根拠法令等	児童福祉法								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	児童福祉法改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内に在住する障がいのある児童とその保護者		
目標	①障がいのある児童の通所支援にかかる支給決定を行うことにより、事業所の利用ができるようになります。 ②事業所からの請求を審査し、給付費の支払いを行うことで事業所の運営経費となります。		
結果	事業所の安定した運営により、障がい児への継続的な療育が行えるようになります。		
事業概要	①平成24年度から児童福祉法の改正により法定事務として府から市へ事務移管されたことに伴い、障がいのある児童に通所支援にかかる支給決定事務を行います。 ②①と同様の経緯による法定事務にて、毎月各事業所からの給付費の請求にかかる内容を審査し、国保連合会を通して各事業所に支払います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	事業所への給付費の支払い
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	834,996	983,156	1,261,006	1,184,992	1,334,923
人件費職員数(人)	0.80	0.60	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	4,740	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	841,532	987,896	1,262,617	1,186,603	1,336,512
特定財源(C)	625,431	750,205	944,469	900,520	998,969
国	416,021	502,828	628,713	605,214	665,046
府	209,410	247,377	315,756	295,306	333,923
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	216,101	237,691	318,148	286,083	337,543
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	216,101	237,691	318,148	286,083	337,543
財源計(C+D)	841,532	987,896	1,262,617	1,186,603	1,336,512

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00321

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい児通所支援サービス利用件数	件	目標値	66,120.00	67,320.00	140,376.00
			実績値	99,349.00	121,627.00	
			達成度(%)	150.30	180.70	
目標値の積算方法	第1期障がい児福祉計画の月当たり利用量見込み×12月	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.94	9.76	
			一般財源(千円)	2.39	2.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	福祉サービスを必要とする障がい児へ、ニーズに沿った適切な給付を行うことにより、安定した障がい児通所支援サービスの供給が行えました。
	達成状況
	障がい児に必要とされる療育等支援ができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。(理由: 当該事業は法定業務であり利用ニーズも高く、障がい児の福祉の向上に寄与する重要な事業であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移は毎年増加しているものの、利用ニーズ、サービスの必要性は高く、供給体制も増加傾向にあることを踏まえると、おおむね妥当だが改善の余地はある。今後、目標を達成するためには、さらなる供給体制の増加が必要。(平成28、29年時の活動指標に関する目標値は、第4期障がい福祉計画の数値。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果は出ているものの事業費が高いため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。併せてサービスの質の向上が求められており、事業所に対する後方支援等の検討も必要である。また、効率的な支給決定事務を検討し事務改善を図る余地がある。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	児童福祉サービス給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00321				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

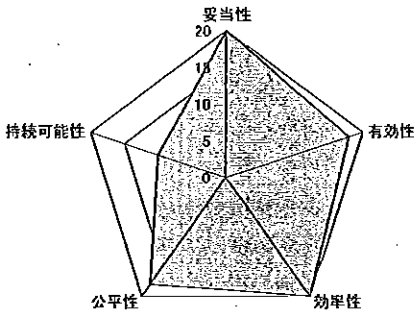
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00321
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業に対する市民ニーズは高く、事業所におけるサービス提供形態も多様化しており、新規に参入する事業所が今後も増加する中で、事業費は増加傾向にあります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性 事業開始当初と比べ民間事業所を利用する比率が高くなっており、法に定める支給決定業務については、サービスの申請を行う市民の利便性等を考慮し見直しが必要と考える。また、児童・保護者ニーズの高い福祉サービスであり、多様なニーズに対応する提供体制の確保と、サービスの質の向上が求められている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
11時58分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00322	安全対策事業（子ども発達支援センター）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援／障害のある子どもの療育体制の充							
予算事業	10461	01	03	02	10	05	01	01	安全対策事業（子ども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美				担当者（内線）	山田 速人（374-11）			
根拠法令等									
事業開始年度	平成17年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	杉の子学園・わかたけ園園児等施設利用者		
目標	安全管理員を配置し、不審者の監視等を行うことにより、園児等施設利用者の安全を確保します。		
結果	園児等の安全面の向上を図ります。		
事業概要	園の安全管理確保と円滑な運営を目的とし、外部からの不審者の侵入を防ぐため安全管理員を配置します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 公益社団法人 吹田市シルバー人材センター	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,260	1,233	1,262	1,241	1,272
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	2,077	2,023	2,068	2,047	2,067
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,077	2,023	2,068	2,047	2,067
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,077	2,023	2,068	2,047	2,067
財源計(C+D)	2,077	2,023	2,068	2,047	2,067

所属	子ども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00322

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	安全管理員配置日数	日	目標値	288.00	286.00	285.00
			実績値	288.00	286.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	安全管理員配置必要日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.02	7.16	
			一般財源(千円)	7.02	7.16	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不審者の侵入等の件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況 達成度は平成28、29年度ともに100パーセント

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(当センターの年間の開所日数の増減により、事業費も増減するが安全管理員の配置単価の大幅な増加はなく、安定して安全管理員の確保ができているため。)</p> <p>【指数数値の評価】 安全管理員の配置必要日数及び配置率を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	安全対策事業(こども発達支援センター)	事業区分	その他
事務事業番号	00322				

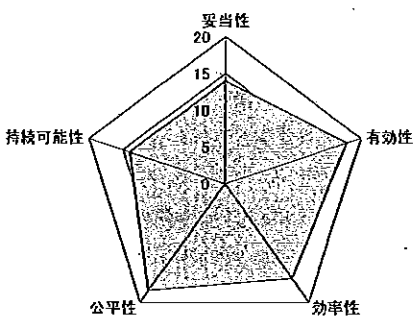
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00322
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性                      安全管理員を配置し、不審者に対する抑止力となっている。今後の事業のあり方については、杉の子学園・わかたけ園園児等の安全を確保し、すべての施設利用者が安心して過ごせるよう、効率的な配置方法等検討の余地があると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
11時59分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00323	相談支援事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充		
予算事業	11288	01	03	02   10   03   02   01
所属長	岸上 弘美		担当者(内線) 景山 昭宏 (374-11)	
根拠法令等	児童福祉法・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障がい者総合支援法)			
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	主に障がい児通所支援の利用を希望する児童及び障がい福祉サービスの利用を希望する児童		
目標	障がい児支援利用計画の作成、サービス事業者等との連絡調整、サービス利用中のモニタリングを行うことで、適切な福祉サービスの利用を促進します。		
結果	適切なサービスの提供を構築することで、障がい児の地域での生活が充実します。		
事業概要	主に障がい児通所支援利用希望児童について障がい児支援利用計画の作成、サービス事業者等との連絡調整、利用状況のモニタリングを行います。法定「児童発達支援センター」の構成事業の一つであり、同センターとして事業所指定を受けていることから、児童発達支援事業及び保育所等訪問支援事業と合わせて、一体的に運営しています。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	57	31	57	40	44
人件費職員数(人)	0.80	0.60	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	4,740	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	6,593	4,771	6,499	6,482	6,400
特定財源(C)	0	1,930	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	1,930	0	0	0
市負担(D)	6,593	2,841	6,499	6,482	6,400
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,593	2,841	6,499	6,482	6,400
財源計(G+D)	6,593	4,771	6,499	6,482	6,400

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00323

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	既担当ケース計画作成件数(契約者数)	件	目標値	96.00	96.00	96.00
			実績値	24.00	66.00	
			達成度(%)	25.00	68.80	
目標値の積算方法	相談員一人あたりの標準担当件数×標準モニタリング期間(40件×2.4月)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	198.79	98.21	
			一般財源(千円)	118.38	98.21	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい児通所支援受給者数に対する計画作成人数	人	目標値	899.00	1,162.00	1,394.00
			実績値	388.00	563.00	
			達成度(%)	43.20	48.50	
目標値の積算方法	障がい児通所支援受給者数(前年の目標値×1.2)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.30	11.51	
			一般財源(千円)	7.32	11.51	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 児童発達支援センターの構成事業として、今後も継続して行っていく必要があるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標については、実績を増やしてはいるものの平成29年度の達成度は70%に満たず、さらに活動量を増やす必要があることから、改善が必要である。今後、事業成果の目標を達成するためには民間事業所の新規参入が不可欠であり、学校等の関係機関における事業の理解、障がい児支援における連携の重要性を伝える等、事業を直接実施する市の役割として活動を強化する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果は出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討等の事務改善を行いつつ継続することが妥当である。また、併せて実施体制の検討も必要である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	相談支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00323				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00323
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性                      児童福祉法に基づく通所サービス(児童発達支援・放課後等デイサービス)の利用件数が増加している中で、本事業に対する新規事業所の参入は全国的に進んでいない。本市においても民間事業所の参入が少ない中で新規に事業を必要とする利用者は増加しており、市が公的な機関として本来発揮すべき利用調整業務に支障をきたしている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
12時00分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	こども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00324	通園療育支援事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充		
予算事業	11296	01	03	02   10   07   01   01
所属長	岸上 弘美		担当者(内線) 岡本 民江(374-17)	
根拠法令等	吹田市立わかたけ園長期欠席児療育介助制度に関する要領 他			
事業開始年度	平成4年	直近の改正	平成24年	
改正内容	吹田市肢体不自由児通園施設長期欠席児対策事業助成金交付要綱 法改正による用語の整理・助成金額の改定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	わかたけ園を利用(通園・外来)する児童および 市内の肢体不自由児の通園施設に通園する児童		
目標	通園療育を円滑に行い、療育効果停滞・後退を防ぎ継続療育を図ります。 単独通園で就学に向け自立心を養成し、就学後の生活の適応につなげます。		
結果	療育効果の向上・定着		
事業概要	①保護者の病気・出産等の理由による長期欠席防止を目的とする療育介助(わかたけ園の臨時雇用員・他施設への助成金) ②単独通園(就学前プログラムとしての他人介助での通園) ③外来訓練・外来障がい児保育制度事業(通園の準備段階、訓練の補助および通園に至らない未就学児親子の支援)		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	恩賜財団大阪府済生会吹田療育園	
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,681	4,201	6,640	4,142	5,545
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	9,132	6,571	8,251	5,753	7,134
特定財源(C)	26	10	21	8	13
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	26	10	21	8	13
市負担(D)	9,106	6,561	8,230	5,745	7,121
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,106	6,561	8,230	5,745	7,121
財源計(G+D)	9,132	6,571	8,251	5,753	7,134

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00324

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	単独通園対象児童数	人	目標値	2.00	7.00	3.00
			実績値	2.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	85.70	
目標値の積算方法	各年度の5歳児の人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3,285.50	958.83	
			一般財源(千円)	3,280.50	957.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	外来保育延べ件数	件	目標値	150.00	150.00	150.00
			実績値	224.00	156.00	
			達成度(%)	149.30	104.00	
目標値の積算方法	過去の実績平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	29.33	36.88	
			一般財源(千円)	29.29	36.83	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		%	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	単独通園は5歳児の小学校週就学に向けて、自立心の向上を促しました。 外来保育は子育て支援の充実を目指しました。	達成状況	単独通園は園児の自立につながりました。 外来保育は保護者同士の関係が深まり、子育て支援に寄与しました。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定 【事業費等の評価】 単独通園事業費は増額を検討する必要がある(理由:児童の自立、また保護者の虐待防止の観点も含め、通園日数増加を検討する必要があると考えるため。) 【指標数値の評価】 療育を円滑に行うために一定の成果はあげているが、療育環境の充実に向けた改善が必要である。 【今後の方向性】 目標とする効果が出ているものの、十分な活動量の確保のためには拡充が必要である。

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	通園療育支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00324				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計、 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00324
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性                      通園療育を補完し、円滑に実施するために効果を上げている。                      単独通園事業については、一定の効果を上げているが、わかたけ園在籍の児童は重症心身障害児や医療的ケアを必要とする児が多く、年齢に比して親子の密着度が高い。また、児童の成長に時間がかかる場合が多いことや、療育環境の変化を鑑みると、事業の日数を増やし、効果的な就学前プログラムにしていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
13時37分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00325	地域療育事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり							
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充							
予算事業	11298	01	03	02	10	06	01	01	地域療育事業（子ども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美				担当者（内線）大岩根 美保子（374-51）				
根拠法令等	児童福祉法・子ども発達支援センター条例								
事業開始年度	平成19年度		直近の改正		平成29年度				
改正内容	杉の子学園定員増に伴う条例改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	0歳から18歳までの発達に支援を必要とする児童及び保護者。児童や保護者をとりまく地域市民。		
目標	児童の発達課題に応じた支援をすると共に在籍機関との連携を図ります。障がい児に対する市民への啓発をし、理解の促進を図ります。		
結果	児童の発達が促進され、生活の質が向上することで、保護者の負担が軽減されます。市民の理解が広がり、安心して地域生活ができます。		
事業概要	<p>「吹田市の療育システムの充実について」の基本方針に基づき、障がい児施設、学校教育、市民病院、保健所等、福祉・教育・医療等の関係機関との連携を図り、システムを推進するために主に次の事業を行います。</p> <p>1、外来相談（一般相談・専門相談） 2、巡回相談 在籍機関への巡回相談（保育園・幼稚園・放課後子ども育成課等） 3、親子教室 幼児期・学齢期の各種親子教室 4、外来相談・訓練 発達相談・言語聴覚療法・作業療法 5、中高生の放課後休日余暇支援 6、地域生活支援 地域福祉講座・ボランティア活動の支援</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	51,938	45,026	53,174	45,895	53,335
人件費職員数(人)	11.70	11.70	13.60	13.60	15.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	95,589	92,430	109,508	109,508	119,970
総事業費(A+B)	147,527	137,456	162,682	155,403	173,305
特定財源(C)	4,363	7,048	6,862	2,456	7,247
国	0	1,772	1,267	0	1,510
府	3,600	4,660	4,812	1,859	5,183
その他	763	616	783	597	554
市負担(D)	143,164	130,408	155,820	152,947	166,058
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	143,164	130,408	155,820	152,947	166,058
財源計(C+D)	147,527	137,456	162,682	155,403	173,305

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	00325

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	外来言語療法・作業療法相談の実施件数	件	目標値	356.00	456.00	511.00
			実績値	275.00	366.00	
			達成度(%)	77.20	80.30	
目標値の積算方法	外来言語療法・作業療法相談の申込(見込)件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	499.84	424.60	
			一般財源(千円)	474.21	417.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	外来発達相談の実施件数	件	目標値	463.00	519.00	571.00
			実績値	459.00	499.00	
			達成度(%)	99.10	96.10	
目標値の積算方法	外来発達相談の申込(見込)件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	299.47	311.43	
			一般財源(千円)	284.11	306.51	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<b>成果内容</b> 児童の障がいの軽減が図られ、生活の質が向上し、保護者の負担が軽減されます。また、児童が所属する機関との連携や、市民による地域での支援によって、安心して生活できます。	<b>達成状況</b> 児童の障がいの軽減や生活の質の向上が見られました。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<b>【事業費等の評価】</b> 事業費は増額を検討する必要がある(理由: 外来相談・訓練の申込件数が増加し、4か月から10か月程の待機が生じているため、担当職員の増員や相談室等の施設整備を検討する必要がある。) <b>【指標数値の評価】</b> 事業成果はおおむね妥当だが、待機児の解消が依然として進まず、改善と工夫が必要である。 <b>【今後の方向性】</b> 目標とする効果が出ているものの、待機児の解消のためには、相談適応の判断や訓練士の増員等検討が必要であると考える。

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	地域療育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00325				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00325
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>(5) 持続可能性                      支援が必要な児童が増加しており、新たな教室の開室や民間事業所の参入で受け皿が広がってはいるものの、本事業への市民ニーズは大きく、現在の親子教室や各種相談・訓練では不十分であり、待機が生じている状況がある。                      今後は、専門職の増員及び、保育所等訪問支援事業での施設支援や事業所との連携をし、システムの推進を進めていく等、効率的に事業を推進していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
12時02分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01427	保育所等訪問支援事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充		
予算事業	11573	01	03	02   10   03   03   01
所属長	岸上 弘美	担当者(内線) 大岩根 美保子		
根拠法令等	児童福祉法			
事業開始年度	平成27年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	保育所や幼稚園、学校等、児童が集団生活を行う場に通う障がい児。		
目標	障がい児が保育所や幼稚園、学校等の集団生活に適應できるように支援します。		
結果	保育所や幼稚園、学校等に在籍している障がい児、又は今後利用する予定の障がい児が、その集団生活適應のための専門的な支援を必要とする場合に、安定した利用の促進を図ります。		
事業概要	保育所や幼稚園、学校等、障がい児が集団生活を行う場に専門職を派遣し、当該児童に対し直接療育を行うほか、当該児童に関わるスタッフに対しても助言・指導を行います。法定「児童発達支援センター」の構成事業の一つであり、児童発達支援事業及び相談支援事業と合わせて一体的に運営しています。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	16	0	16	3	8
人件費職員数(人)	0.20	0.00	0.10	0.10	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	0	806	806	4,767
総事業費(A+B)	1,650	0	822	809	4,775
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,650	0	822	809	4,775
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,650	0	822	809	4,775
財源計(C+D)	1,650	0	822	809	4,775

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	01427

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訪問支援件数	件	目標値	10.00	10.00	5.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	第1期障がい児福祉計画の月当たり訪問件数見込み量	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 保育所等における集団生活適応のための専門的な支援を必要とする場合に本サービスを提供し、安定した利用を促進します。	達成状況 利用希望がなく、実績はありません。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である(理由:児童福祉法に基づき実施している事業のため、予算措置は必要)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は民間事業者も実施しており市の利用実績はない状況であるが、改善は必要と考える。(平成28、29年度の活動指標に関する目標値は、第4期障がい福祉計画の数値。)</p> <p>【今後の方向性】 民間事業者により今のところは充足されているが、制度の周知や事業の実施方法等を検討しながら、継続する必要があると考える。</p>

事務事業分析シート

2018/6/11 11:40

所属名	こども発達支援センター	事業名	保育所等訪問支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01427				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	74	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	01427
-----	-------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 児童福祉法に定める法定児童発達支援センターに必置の事業であるが、本市が地域療育事業で実施している巡回相談において、保育園や幼稚園、放課後子ども育成課に専門職を派遣し、対象児童に関わるスタッフや保護者へ助言指導を行っていることもあり、本事業の利用には至っていない状況がある。今後は、それぞれの事業のあり方や実施方法等検討し利用促進を図ることで、障がい児のさらなる地域支援を推進していく必要があると考える。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月11日  
12時03分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006030100	子ども発達支援センター地域支援センター
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01571	乳幼児健診事後指導事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	32	配慮を必要とする家庭への支援/障害のある子どもの療育体制の充		
予算事業	11668	01	03	02   10   99   99   99   1歳6か月児健康診査事後指導事業（こども発達支援センター費）
所属長	岸上 弘美		担当者(内線) 三木 和美 (310-2290)	
根拠法令等	母子保健法、1歳6か月児健康診査事後指導事業（バンビ親子教室）実施要領			
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	事業名称の変更			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	乳幼児健康診査において事後指導が必要とされた乳幼児及びその保護者		
目標	早期の親子療育による課題の軽減及び解消への援助		
結果	子供の発達促進と親子関係の改善		
事業概要	バンビ親子教室は、乳幼児健康診査の事後指導事業として子供の育ちや育児上の悩み等の不安がある親子が、安心して子育てができるよう支援している親子教室です。 1、1歳児で入室するクラス 5クラス 2、2歳児で入室するクラス（高野台クラス含む） 5クラス 3、3歳児で入室するクラス 1クラス		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	34,962	33,641	37,861	29,667	31,565
人件費職員数(人)	5,30	5,30	5,30	5,30	5,30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	43,301	41,870	42,676	42,676	42,109
総事業費(A+B)	78,263	75,511	80,537	72,343	73,674
特定財源(C)	4,278	4,278	4,199	289	2,892
国	2,761	2,761	1,836	0	1,502
府	1,380	1,380	918	0	751
その他	137	137	1,445	289	639
市負担(D)	73,985	71,233	76,338	72,054	70,782
地方債	0	0	0	0	0
その他	137	0	0	0	0
一般財源	73,848	71,233	76,338	72,054	70,782
財源計(C+D)	78,263	75,511	80,537	72,343	73,674

所属	こども発達支援センター地域支援センター
事務事業番号	01571

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	総在籍児数(実数)	人	目標値	270.00	260.00	290.00
			実績値	260.00	276.00	
			達成度(%)	96.30	106.20	
目標値の積算方法	1歳6か月児健診において事後指導が必要とされる人数(概ね出生数の6%) + 前年度からの継続人数(79人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	290.43	262.11	
			一般財源(千円)	273.97	261.07	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	退出時に行った保護者へのアンケート調査結果(バンビ親子教室を利用することで育児の不安や苦勞が軽減されたと答えた人の割合)	%	目標値	80.00	80.00	80.00
			実績値	84.00	90.00	
			達成度(%)	105.00	112.50	
目標値の積算方法	各年度、アンケート回収数の80%を目標とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	898.94	803.81	
			一般財源(千円)	848.01	800.60	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある(理由:利用ニーズに合った時期に必要な支援ができる体制整備が必要と考えるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 成果指標の実績(教室終了後の満足度の結果)を踏まえると現状で妥当と考える。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする成果が出ているものの、多様なニーズへの課題があり、いつでも開室できる体制を整備するためには拡充が必要と考える。</p>

事務事業分析シート

2018/6/1111:40

所属名	こども発達支援センター	事業名	乳幼児健康診査事後指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	01571				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	01571
-----	-------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 退出時のアンケート結果から「子供とのかかわりが学べた」「親子で友達ができた」「悩みを共有できて楽しかった」等、子育てへの前向きな感想があった。引き続き支援が必要な親子には、継続して療育につながるように他機関と連携し、支援している。 平成30年度には乳児後健康診査事後指導事業を開始する予定であり、平成29年度にスタートした3歳児健康診査事後指導事業とともに、各健康診査後のフォロー体制の充実を目指している。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--